

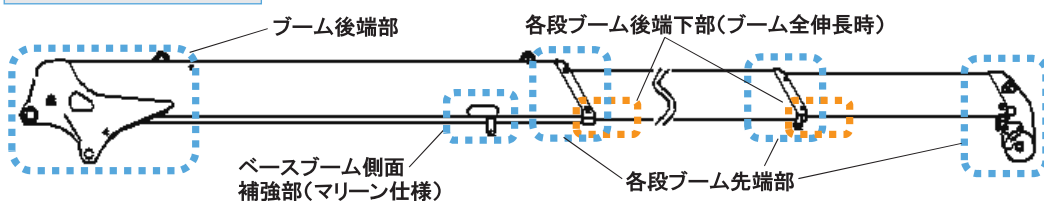
クレーン構造体の点検について(1)

構造体は車体全体を支える重要な役割を果たしています。年次検査、月例点検では特に次の項目について損傷、亀裂、磨耗、破損、変形、異音がないか点検を行ってください。

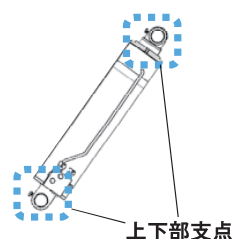
点検の結果、異常があるときは、タダノ指定サービス工場にて修理を行ってください。

<カーゴクレーンの点検箇所>

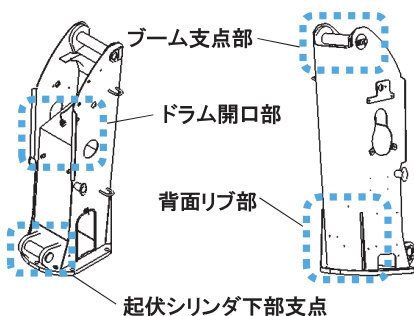
1. ブーム構造部



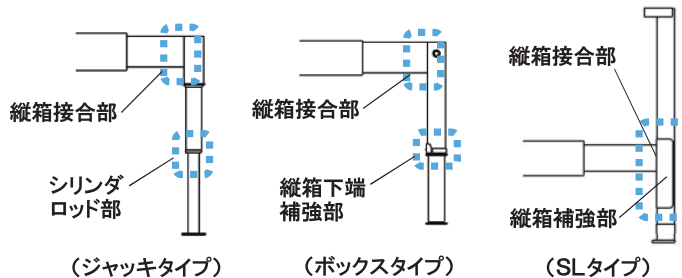
2. 起伏シリンダ



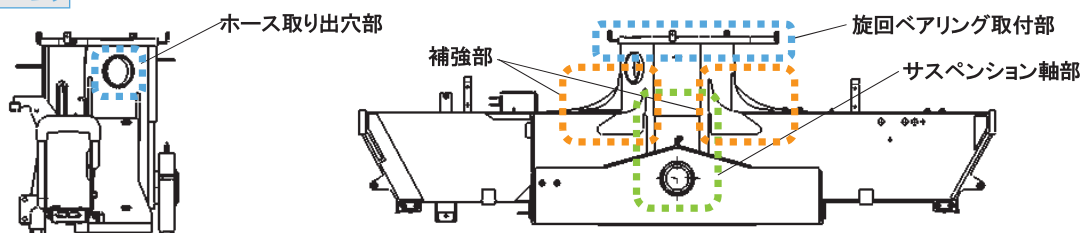
3. ポスト



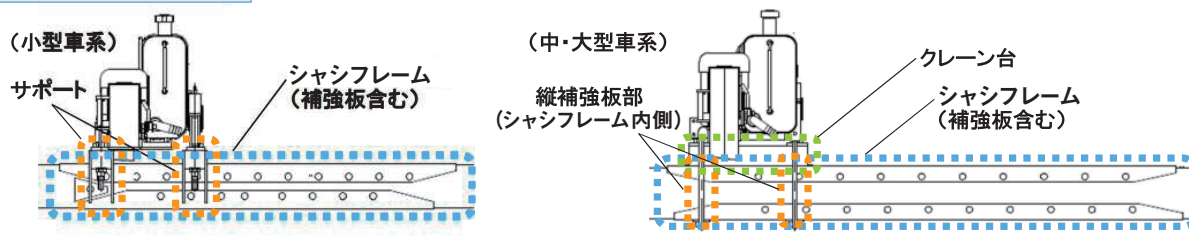
4. アウトリガ構造部



5. フレーム



6. シャシフレーム



メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



クレーン構造体の点検について(2)



クレーンを含め、すべての工業製品には使用条件と使用頻度に応じた寿命が存在します。年次検査、月例点検で構造体に亀裂等の異常がないか点検を行ってください。

【亀裂点検要領】

① 目視確認

ベースブーム側面(マリン仕様)



起伏シリンダ(下部支点)



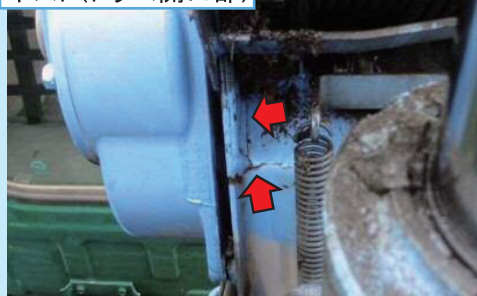
アウトリガ(縦箱下端補強部)



ポスト(ブーム支点部)



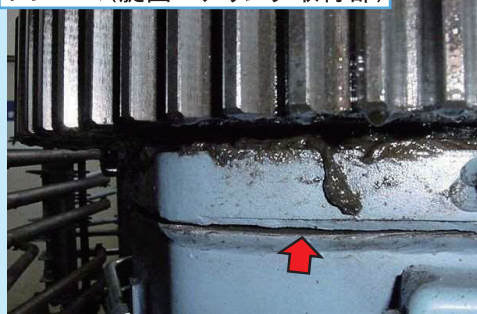
ポスト(ドラム開口部)



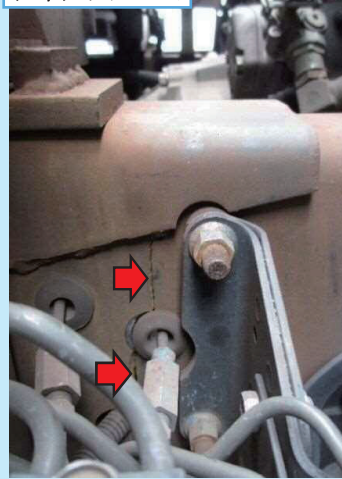
フレーム(補強部)



フレーム(旋回ベアリング取付部)

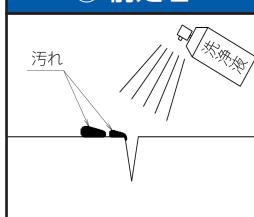


シャシフレーム



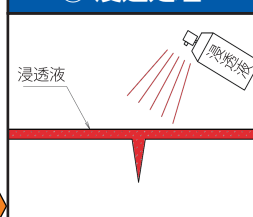
塗装割れ、錆発生が認められる場合は浸透探傷検査にて亀裂の有無を確認する。

② 前処理



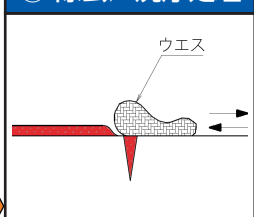
検査面に塗料が付着している場合は取り除いた後、洗浄液等を用いて油脂・汚れ等を除去する。洗浄後は十分に乾燥させる。

③ 浸透処理



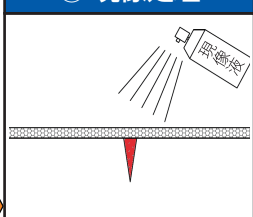
浸透液を塗布し、欠陥部に浸透液を十分に浸透させる。(浸透時間は使用する浸透液の取扱説明書を参照)

④ 除去/洗浄処理



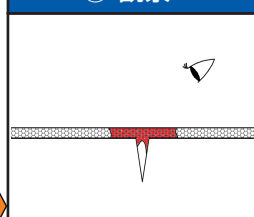
溶剤除去性浸透液を使用した場合は、表面の浸透液を乾いたウエスで除去し、次に洗浄液を軽く含ませたウエスできれいに除去する。

⑤ 現像処理



十分に攪拌した後、検査面がうっすら見える程度に薄く均一に現像液を塗布する。(現像時間は使用する現像液の取扱説明書を参照)

⑥ 観察



明るい所で検査物表面を観察する。クラック(傷)があれば、毛細管現象により吸い出された浸透液が現像液塗膜中を広がり、白地に赤色の指示模様として現れる。